

令和6年度「学校推薦型選抜Ⅰ」講評

1. 小論文

(1) 方法

本年度の小論文課題では、AI（人工知能）に代表される最新テクノロジーの進化について、その問題点と可能性を整理し、その上で進化し続けるテクノロジーと自分たちはどのように向き合っていくべきかを問うたものである。

この課題は、最新テクノロジーという現代的なトピックを踏まえて、作題の意図を十分理解できるか、またそれらについて論理的に自分の意見を展開できるか、といった観点から、本学のアドミッション・ポリシーに則り、広く社会の課題の探求と解決に、主体的に取り組む姿勢を持っているかを確認することを目的として作成された。

(2) 結果に関する評価

評価のポイントは、①課題文で提示された新聞記事について、問題点と可能性について整理できているか、②整理した問題点をどのように解決することについて論理的に展開できているか、③「進化するテクノロジー」についてどのように自分は向き合うべきなのかについて、具体的に展開できているか、④根拠を示しつつ、終始一貫した論の展開がなされているか、であった。

そのため、課題文で提示された内容について、一部のみで全体を踏まえて理解していないもの、ある部分のみに着目して論理展開しているもの、表現を変えているだけで同じ主張を繰り返して論理展開がなされていないもの、そして意見に独自性はあっても文章の展開が飛躍しているものなどは評価が低かった。また、段落の使い方などの構成力が不十分なもの、極端に字数制限を逸脱しているもの、判読困難な乱筆、誤字脱字が多いものなどの文章の基本的な部分が欠如しているものも評価が低かった。

一方、課題文に提示された内容を十分に理解し、自らの知識や経験を利用して論理展開しているもの、自らの主張を明確に提示しながら論理的に説明が出来ているもの、文章構成がしっかり考えられているものなどは高い評価となった。

2. 個人面接

(1) 方法

1人あたり約20分で面接を行った。評価の基準は次の3点であった。

① 表現する力

自己推薦書やアピール・ポイントの内容をわかりやすく表現しているか。

面接員の質問に対して、自分の考えを簡潔かつ具体的に表現できているか。

② 面接の態度

相手の発言をしっかりと理解しようとする態度があるか。

対話に参加しようとする姿勢であるか。

③ 適性や意欲

入学への真の意欲があるか。

「大学案内」などによってカリキュラムの内容を理解しているか。

(2) 結果に関する講評

上記の3つの基準を踏まえて評価をした。その結果、面接員のコメントは下記のようなものであった。

①「表現する力」に関するコメント

高校3年間において、コロナ禍の影響も踏まえて高校3年間自分の力を入れてきたことや自分のアピール・ポイントなどについて、自らの言葉を使って具体的に表現した受験生には高い評価が与えられた。また、自分の将来の目標と本学のカリキュラムとの整合性について具体的な説明が行った受験生にも高い評価となる傾向にあった。しかしその反面、本学のカリキュラムについての理解不足や、自らの将来のビジョンと本学のカリキュラムとの整合性や具体性に欠ける受験生には低い評価となる場合が多かった。受験生には、本学の学びについての理解と将来のビジョンを具体的に自分の言葉で表現できることを期待したい。

②「面接の態度」に関するコメント

面接においては、緊張して多少受け答えがぎこちなくても、真摯な態度で対応すれば低い評価とはならない。まずはしっかり質問に対してきちんと答えることが重要で評価されていた。逆に、質問に対して答えとなっていない発言は、評価を下げる傾向にあった。

③「適性や意欲」に関するコメント

最も重視される点として、本学へ入学したいという意欲が感じられることが重要である。しかし、それに見合うだけの本学の学びについての理解も求められる。本学のアドミッション・ポリシー、カリキュラム、学びの特色（リベラル・アーツ教育など）について十分理解しておくことはもちろん、入学後に学びたい科目やゼミ、教養課程（グローバル人材養成プログラムと現代教養科目群）と専門課程（言語・文化、メディア・コミュニケーション、国際政治経済という3専攻）などの理解は不可欠である。本学についての理解の欠如は、入学者としての適性の欠如と評価される傾向にあった。本学の学びについては、内容の暗記となつてはならず、できるだけオープンキャンパスや本学の様々な活動を通じて得た情報を基に理解してほしい。このような点を十分理解した上で、自分の将来のビジョンと本学の特徴との整合性について、表現できる受験生には高い評価が与えられた。また、入学後の本学での活動についても、明確かつ具体的なビジョンを持っている受験生が、より入学意欲が高いと評価される傾向にあった。受験生には、本学での学びを十分理解した上で、自分が本学の環境において、どのように成長したいか自分の言葉で意欲を伝えてほしい。